

子供たちが 空に向かい 両手を ひろげ

鳥や雲や 夢までも つかもうと している

その姿は きのうまでの 何も 知らない私

あなたに この指が 届くと 信じていた

空と大地が ふれ合う彼方

過去からの 旅人を 呼んでいる 道

あなたに とって私 ただの 通りすがり

ちょっと ふり向いて みただけの 異邦人

間奏(20 秒、レフ1回)

市場へ行く 人の波に 身体を 預け

石だたみの まちかどを ゆらゆらと さまよう

祈りの声 ひづめの音 歌う ようなざわめき

私を 置きざりに 過ぎてゆく 白い朝

時間旅行が 心の傷を

なぜかしら 埋めてゆく 不思議な 道

サヨナラ だけの手紙 迷い 続けて書き

あとは 哀しみを もて余す 異邦人

あとは 哀しみを もて余す 異邦人